

学校だより



自立する子・「合い」ある子の育成

かけはし

校訓

至誠・勤労・規律

令和5年11月29日

津幡町立井上小学校

TEL 288-8261

感謝の気持ちを言葉に

校長 嶋崎 恭代

11月16日、トイレの改修・エレベーターの増築工事に携わってくださった方々へ、感謝の気持ちを伝える会を開きました。「子供たちに清潔で使いやすいトイレを作りたい」という工事に携わった方々の思いや仕事内容を紹介した後、児童が新しいトイレを使用した感想などを伝え、児童全員が書いた作文も渡しました。建築士の中宮さんは、「何十年もこの仕事をしてきたが、このような作文をもらったのは初めてだ。」と大変感激されていました。児童の感謝の気持ちを一人一人の言葉でお伝えすることができ、よい会となりました。

丁寧に字を書くことを、今後も大切にしていきます

この秋、河北郡市作品展や町子連作品展、井上公民館の文化祭、県児童硬筆書写作品コンクール等に、児童の作品を出品しました。保護者や地域の方、他校の保護者の方に作品を見ていただき、本校児童が一生懸命に書いた字をたくさんの方に褒めていただきました。また、県児童硬筆書写作品コンクールでは、全校児童の作品に対して「学校賞」を昨年に続いていただきました。子供たちの練習の成果を認めていただけたと大変喜んでいるところです。

「字は人を表す」という言葉があります。書く人の性格や人柄が字に表れるという意味です。しかし、最近ではあまり聞かれなくなった気がするのは、パソコンの普及で手書きの機会が減ったから？手書きの価値が下がったから？でしょうか。小学校でも以前と比べて、書く活動が減ったと感じています。文字を書く練習をしていると、正しい姿勢での座り方、そして鉛筆の持ち方などのフォームが身についてきます。手指先の器用さの練習にもなります。丁寧に書くことを続けることで、集中力もつきます。今後も丁寧に文字を書く指導を大切にしていきたいと思えます。

◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

雨の中、頑張った「PTA 資源回収」

11月12日（日）小雨の中始まった資源回収でしたが、しだいに雨足が強くなり、大変寒い中の作業となりました。しかし、保護者も職員も精力的に行い、これまでと変わらず笑顔の中、終わることができました。中心となって準備していただいたPTA文化環境部や総務部、運動育成部の皆様、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



小学生 ボランティア活動

昨年に引き続き、4・5年生それぞれがボランティア活動を通して多くのことを学びました。その中でも特に大きな学びとなったのは、「小学生であっても、人の役に立てる」「お世話する力が私たちにはある」「地域を支える一員である」という学びです。お世話くださった地域の方々、町福祉協議会の皆様、本当にありがとうございました。